

2018 年度卒業年次生アンケート報告～学位授与方針・学びの満足度編～

1 調査概要

本学では、3つのポリシーに基づく、課程全体を通じた教育や学修の成果について把握し、今後の教育改善に役立てていくことを目的として、毎年、卒業を控えた学生に対して卒業年次生アンケートを実施している。本報告書では、2018 年度卒業年次生を対象に実施したアンケート調査の結果について、一部を抜粋して報告する。

- 調査対象：2018 年度卒業年次生
- 実施方法：WEB アンケート
- 実施期間：2019 年 2 月 20 日～3 月 20 日
- 回答率：83% (374 名／453 名)

2 結果の概要

(1) 文学部 学位授与の方針 (DP) 達成状況について

大学・大学院で、あなたが学び、身につけたことについてお尋ねします。それぞれ 5 段階でお答えください。

選択肢と本学の学位授与の方針 (DP) との対応

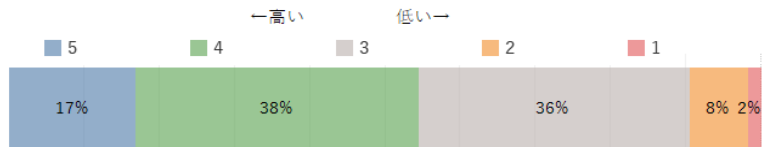
1. あなたは、建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを理解できましたか (DP2)
2. あなたは、キリスト教ヒューマニズムの理解に基づき、他者を思いやる人間性をもち、奉仕精神をもって講堂できるようになりましたか (DP2)
3. あなたは、難しい問題に直面したときに、さまざまな情報を自分で収集し、客観的な視点で整理し、論理的に分析しようとするのができるようになりましたか (DP3)
4. あなたは議論の場において、それぞれの意見を聞き、また自分の意見を伝え、対話を続けようとするのができるようになりましたか (DP4)
5. あなたは、多様な文化への理解や尊重をもって、相手と接することができるようになりましたか (DP5)
6. 今後、あなたは自分で学びたい対象をみつけて、学び続けることができますか (DP6)

文学部 学位授与の方針 (DP)

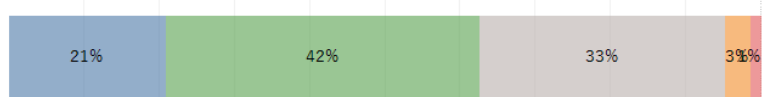
- DP1 豊かな教養と専門領域の学芸を修得している。
- DP2 建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを理解し、他者を思いやる人間性を持ち、奉仕的精神を持って行動できる。
- DP3 複雑な事象を前にしても、問題の根源にさかのぼって論理的に思考を重ね、解決を目指すことができる。
- DP4 言語等によるコミュニケーションの能力を備え、多様な立場や考え方が交錯する中でも対話を続ける姿勢を保つことができる。
- DP5 文化の多様性を理解し、個々の文化の個性を尊重し、国際社会の中で活躍するための基本的な資質を備えている。
- DP6 常に学ぶ態度を忘れず、知識を広め教養を深めて、自分を豊かにしていくことができる。

(N=374)

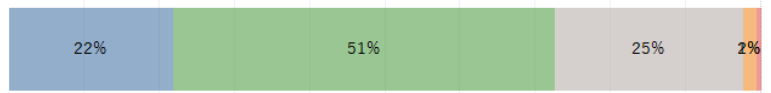
あなたは、建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを理解できましたか



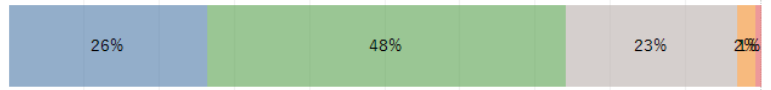
あなたは、キリスト教ヒューマニズムの理解に基づき、他者を思いやる人間性を持ち、奉仕精神をもって講堂できるようになりましたか



あなたは、難しい問題に直面したときに、さまざまな情報を自分で収集し、客観的な視点で整理し、論理的に分析しようとするのができるようになりましたか



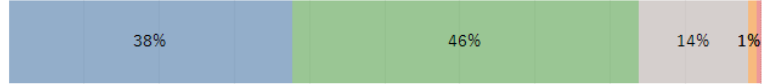
あなたは議論の場において、それぞれの意見を聞き、また自分の意見を伝え、対話を続けようとするのができるようになりましたか



あなたは、多様な文化への理解や尊重をもって、相手と接することができるようになりましたか



今後、あなたは自分で学びたい対象をみつけて、学び続けることができると思いますか



(2) 大学での学びの満足度について

本学での学びはいかがでしたか。あなたの満足度を教えてください。資格科目を履修していない場合は「どちらともいえない」を選択してください。

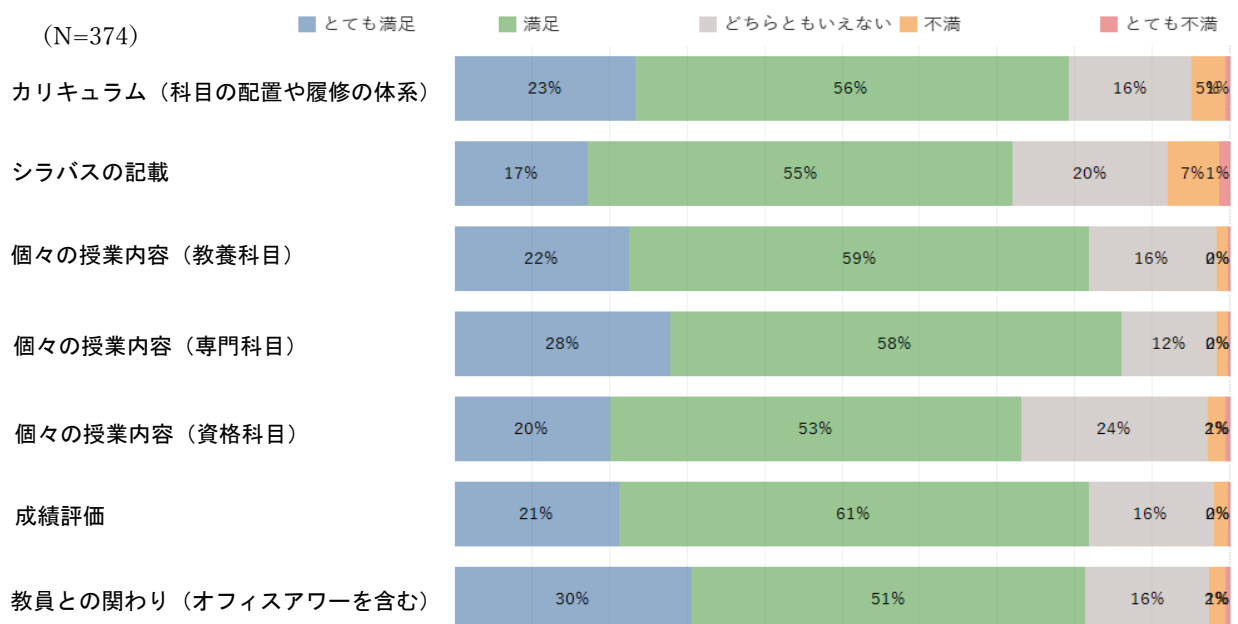
項目：「カリキュラム（科目の配置や履修の体系）」「シラバスの記載」「個々の授業内容（教養科目）」

「個々の授業内容（専門科目）」「個々の授業内容（資格科目）」「成績評価」

「教員との関わり（オフィスアワーを含む）」

選択肢：とても満足、満足、どちらともいえない、不満、とても不満

(N=374)



以上